

# 取扱説明書

## 【初めに必ずお読み下さい】

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

※取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

※開封後すぐ、取り付け作業前に、必ず内容部品の破損、部品表にて梱包物の数量等を確認して下さい。

### 安全に関する表示

 <b>警告</b>	指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの。
 <b>注意</b>	指示に従わない場合、傷害に至る可能性物的損害の発生が想定されるもの。
 <b>高温注意</b>	表記の注意を告げる物です。

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品は、適応車両、目的用途以外の使い方で使用しないで下さい。サーキット走行やジムカーナなどでの使用は想定しておりません。</li> <li>本製品の取り付けは、整備資格のある方、または車両整備の基礎知識と経験のある方が行って下さい。取り扱い不注意、取り付け不良、誤使用などによる破損や事故に対して弊社は責任を負いませんのでご了承下さい。</li> <li>本説明書は、車両のサービスマニュアルに載っている内容は割愛し、車両整備の基礎知識と経験のある方を対象に編集、解説しております。取り付けに不明点がある場合、不確実な作業は事故、破損の原因になるのでお止め下さい。</li> <li>エンジン始動時には騒音や発火、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保と、周辺へのマナーと配慮を心掛けて下さい。</li> <li>車両への乗車前には、日常的に整備、点検を実施し、車両の各部や取り付け部品とその周辺に異常や破損、劣化がない事を確認して使用して下さい。</li> </ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両整備に関する詳細は、車両のサービスマニュアルを参照して下さい。</li> <li>他社製品との同時使用による、組み合わせや取り付け相性、機能、性能などは未確認です。</li> <li>車体への改造や、転倒歴のある車両には取り付けできない場合があります。</li> <li>製品の開梱時や製品の取り扱い時には、部品の端部や突起、バリなどがある場合があります。作業の際は保護手袋を使用するなど十分に注意して下さい。</li> <li>耐熱黒塗装は素材が鉄製の場合、将来にわたって保護効果を保証するものではありません。経年劣化、塩分・薬剤の付着、急激な熱入れ等、場合よっては錆、腐食が発生することがあります。錆、腐食等を発見した場合はタッチアップを推奨します。</li> </ul>
 <b>高温注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マフラーは、非常に高温になります。作業を行う際は、必ずエンジン、マフラーなど各部が冷えた状態を確認してから作業してください。接触によるやけどや、衣服、可燃物などに注意して下さい。</li> </ul>

### 新規マフラー取り付け後の始動時の注意・表面処理の種類別

- エンジン始動前にはパイプ部分が汚れていないか十分に確認してからエンジンを始動させて下さい。ムラやシミの原因になります。
- またサイレンサーエンブレムに保護フィルムが付いている場合は、フィルムを剥がしてから始動して下さい。剥がさないとフィルムが焦げ付きます。
- エンジン始動後は、吸音材の慣らしのため 15 分程度は慣らし運転を行って下さい。この時、白い排気ガスが出ることや、サイレンサー下部の水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

#### 黒塗装の場合

- 有機溶剤系での脱脂を行なわないでください。塗装を痛め、剥がれや溶解の原因となる恐れがあります。
- 汚れが付着した場合は中性洗剤で洗って下さい。
- エンジン始動後はいきなり高回転まで回さず、塗装の定着を目的にアイドリングで暖機運転を行って下さい。
- 急激に熱を加えますと塗装内の揮発成分が沸騰し、気泡状の膨れや、割れ、剥がれの原因となります。
- 始動直後はマフラー表面より白煙が上がりますが、これは塗料がマフラーに定着する際に発生するもので、塗料が完全に定着するまで（白煙が上がらなくなるまで）5 分～10 分程度（季節、気温による）、熱を加えその後、一度自然冷却して下さい。
- この後の走行も 50km 程度までは慣らし運転を行って下さい。

#### メッキの場合

- マフラーに錆のような黄褐色のシミが付いている事がありますが、これは錆ではなくメッキ処理をする際の薬品の残りです。製品出荷時に十分管理しておりますが、万が一このメッキ液が付いている場合は市販のバーツクリーナー等で洗浄してご使用下さい。

#### ステンレス、チタンの場合

- エンジン始動前にマフラー表面を十分に脱脂して下さい。（ガソリン・灯油は不可）汚れが焼き付き、取れなくなります。
- 走行後のマフラーに付いた油分や汚れは市販のバーツクリーナー等を使用して取り除いて下さい。研磨による除去は表面にムラを発生させる原因となりますのでご注意して下さい。
- 素材の地肌をそのまま使用した製品です。素材の特性上、排気ガスにより高温になる部分には焼け色が発生します。

## アルミの場合

- モンスターサイレンサーなど一部のアルミ製品は、アルミ本来の風合いを楽しんで頂く為に表面に研磨加工以外のメッキ、コーティング処理をしておりません。適切にメンテナンスをすることでアルミ本来の風合いを保つことが出来ます。
- 土や鳥の糞、虫などの汚れが付着した場合、中性洗剤で洗浄した後に、流水でよく洗い流し柔らかいウエスで拭き取って乾燥させて下さい。
- 油分が付着した場合、バーツクリーナー等をウエスに染みませ、優しく拭き取って下さい。
- サイレンサー内部に水分を貯めたままにしていると腐食の原因となる場合があります。できるだけ短距離走行は避け、サイレンサー内部を乾かすようにして下さい。
- 表面に軽い腐食がみられる場合、3M 社製、スコッチライト（800 番相当）の研磨パッド等などを使用し、研磨目に沿って磨いてください。軽い傷を消す事も出来ます。
- アルミ素材のため酸化・接触・電食等による腐食や、見た目の変化等の経年劣化は保障対象外となります。

## サイレンサーのお手入れ

- 汚れは中性洗剤で洗って下さい。油分が付着しているなど、汚れたまま走行しますと変色する事があります。
- シンナーや有機溶剤はエンブレムの塗装を侵しますので使用しないで下さい。
- 吸音材、消音機構部材は使用環境や走行状況により耐久性が異なります。ご使用の際は出来る限り短時間のエンジン始動を避け、始動の熱でマフラー内部に溜まった水分を蒸発させるよう心掛けて下さい。

## マフラーのセッティングについて

- モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。  
したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。
- マフラー交換に伴う性能悪化が見られる場合は、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

## JMCAについて

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動を行っています。  
「JMCA認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

## メンテナンスについて

マフラー bolt の緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。  
走行による汚れは、市販の中性洗剤等をご使用下さい。  
車検の際は、付属の「排出ガス試験結果証明書」または「純正触媒使用確認書」が必要となりますので持参してください。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

本説明書は、製品の譲渡時には部品と同様に、お渡し引継ぎください。

製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽に電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

## 株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

WEBSITE <https://www.moriwaki.co.jp>

お問い合わせ先 : [info@moriwaki.co.jp](mailto:info@moriwaki.co.jp)

# MORIWAKI MX-Red Line WT/ANO

## '14-17 CB1300 SB FULL EXHAUST SYSTEM

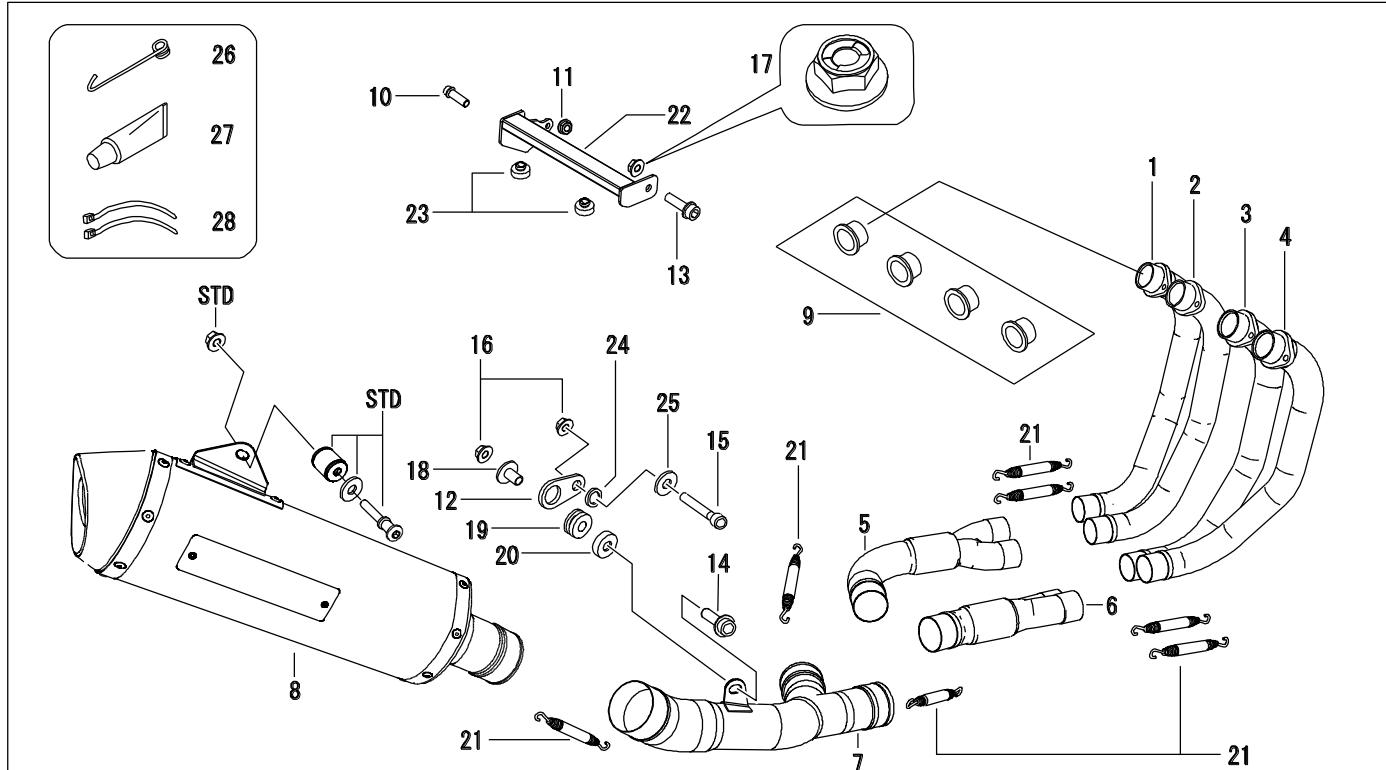
01810-621M1-R0/01810-631M1-R0

※本製品は'08-13 CB1300 SF/SB, '14- CB1300 SF には装着できません。

この説明書は作業前に必ず読んでください。

本説明書は保管し、メンテナンス等の際に参考するようにしてください。

### 【構成部品】



図中の部品番号「STD」とは、純正部品の事であり、純正部品を流用して取付ける意味です。

No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)	No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	18110-631E6-00	フロントパイプ#1	1	¥36,300	15	96601-08050-90	キャップボルト 8x50	1	¥319
2	18120-631E6-00	フロントパイプ#2	1	¥36,300	16	982010-08000	フランジナット 8	2	¥110
3	18130-631E6-00	フロントパイプ#3	1	¥36,300	17	980010-08000	フランジロックナット 8	1	¥110
4	18140-631E6-00	フロントパイプ#4	1	¥36,300	18	0312-11250-F010	グロメットカラー	1	¥352
5	18210-631C7-00	ミドルパイプ L	1	¥48,400	19	0312-17250-DR00	グロメット	1	¥308
6	18220-631C7-00	ミドルパイプ R	1	¥46,200	20	0311-08250-5100	カラー 25x85	1	¥605
7	18230-631M1-R0	テールパイプ	1	¥59,400	21	0A02-08709-KK11	スプリング(SUS)	7	¥759
8	18910-621M1-R0	サイレンサーWT	1	¥75,900	22	50560-L3190-01	スタンドストッパー	1	¥275
	18910-631M0-R0	サイレンサーANO	1	¥75,900	23	50524-MN8-000	スタンドストッパーラバー	2	¥405
9	18117-L3181-00	マウスピース インナーカラー	4	¥1,320	24	0311-08140-4100	カラー 14x8x4	1	¥550
10	972010-06015	フランジキャップボルト 6x15	1	¥132	25	030A-08160-1100	ワッシャー 小8	1	¥61
11	982010-06000	フランジナット 6	1	¥110	26	3A32-00000-00T0	スプリングブラー	1	¥220
12	18240-L3190-00	テールパイプサブステー	1	¥825	27	860-806-0600	ME30(シールボンド)	1	¥660
13	972010-08015	フランジキャップボルト 8x15	1	¥132	28	90650-35150-10	セルフロックバンド 150BL	2	¥44
14	972010-08030	フランジキャップボルト 8x30	1	¥132	取扱説明書、排ガス証明書				各1 -

部品構成図と梱包内容を照らし合せ、部品の確認をして下さい。

商品詳細		注意事項	
製品名	MORIWAKI MX-Red Line	① 作業時は、ケガ、火傷などを未然に防ぐ為、軍手等を着用して下さい。	
適合車種	HONDA '14-17CB1300SB 形式 : EBL-SC54	② 作業時は、エンジン等が十分冷めた事を確認してから行って下さい。	
インジェクション	純正状態	③ 走行時に部品脱落などの事故が発生しないよう、各部の締め付けを乗車前に十分確認して下さい。	
エンジン仕様	純正状態	④ 走行中の振動により、ボルト/ナット類が緩む事がありますので、必要に応じて増し締めを行って下さい。	
認証番号	JMCA1114007054	⑤ 取付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。	
排気音量	近接 90 dB 加速 79 dB	⑥ 車両にステップ、スイングアーム等の改造(モリワキ製品除く)がありますと装着できない場合があります。また、不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのであらかじめご了承下さい。	
製品重量	6.1 kg STD 12.8 kg		
オイル交換	本製品脱着不要		
オイルフィルタ	本製品脱着不要		
センタースタンド	本製品脱着不要		

### 【使用工具】

スパナ 10、12 mm , ソケットレンチ 12 mm

6角（ヘキサゴン）レンチ 6、8 mm

トルクレンチ , 軍手 , ウエス , 脱脂洗浄剤

### 【純正部品取外し、取付け準備】

① 構成部品図と梱包内容物が合っているか確認します。

② 純正マフラーバンド、サイレンサーステー部のボルト、を緩め、サイレンサー部を取り外します。

取外した、純正サイレンサーステー部のボルト、ナット、ワッシャーは再使用します。

③ ラジエター下側のボルト2本を外します。

④ エンジンポート部のエキゾースト法兰ジ（以降EX. フランジ）部、エンジン下部のステー部のナット、ボルトを緩め、マフラーを取り外します。

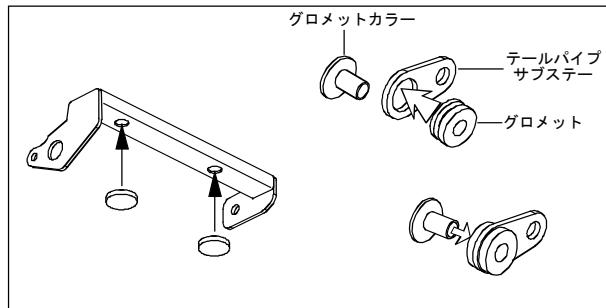
※取り外しの詳細については、HONDA サービスマニュアルを、参照してください。



**△ 注意**  
純正マフラーは大変重いのです。取外し時の落下によるケガ、破損等に十分注意して下さい。

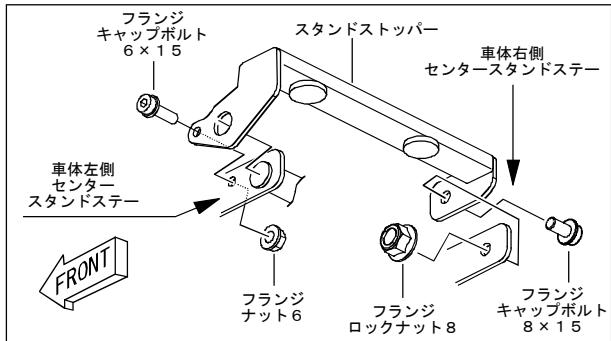
⑤ スタンドストッパーに付属のスタンドストッパーラバーを2個取付けます。

⑥ テールパイプサブステーに付属のグロメット、グロメットカラーを取付けます。



## 【製品の取付け】

- ① スタンドストッパーを付属のボルト、ナットで取付けます。



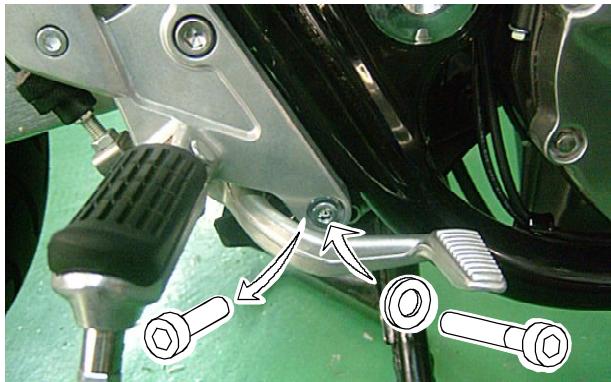
- ② テールパイプサブステーの取付け。

- ・ 右側のステッププレートを固定しているキャップボルト 8×36 を付属のキャップボルト 8×50 とワッシャー小に交換します。
- ・ このボルトのフレーム内側に飛び出した先端に、付属のカラーとテールパイプサブステーを組込み、仮止めします。

### アドバイス

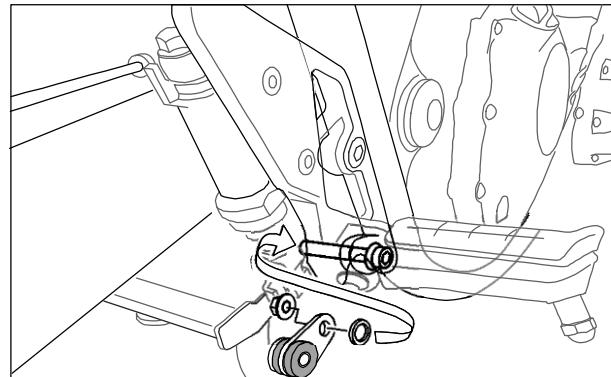
テールパイプサブステーの組込み位置は、非常に狭いので下記の手順をお勧めします。

- A キャップボルト 8x50 とワッシャー小をステッププレートに挿入し、フレーム内側から 7mm 程度つき出た位置まで締め付ける。
- B 付属のカラーとテールパイプサブステーとナット 8 を一緒にボルト先端に通す。
- C キャップボルト 8x50 を 6角レンチで回転させナットもボルトを通していく。
- D ボルトの頭が奥まで入ったら、締め付けてステッププレートを固定させる。
- E ナット 8 をスパナで締め付け、テールパイプサブステーを固定させる。（ただし完全な締め付けは、後述の「マフラーの本締め」の時にに行なう。）



- ③ フロントパイプの取付け。

フロントパイプにマウスピースインナーカラーを差し込み、純正の袋ナットを使用して、車体に仮止めします。

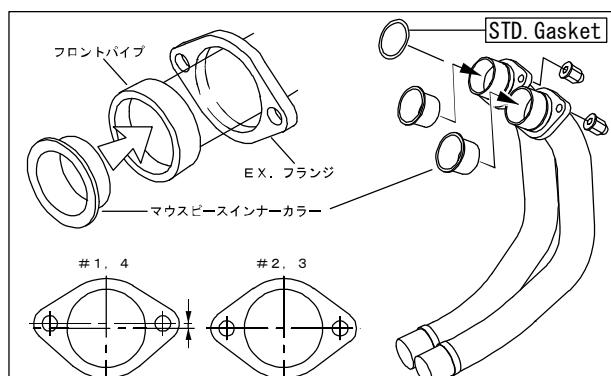


### アドバイス

フロントパイプ #1 と #4 はフランジの穴が中心線よりずれていますので、穴位置に注意して下さい。

仮止めは、かなりゆるめにしてください。テールパイプ組み付け時の作業性を良くする為です。

フロントパイプの取付け時にガスケットが劣化、損傷していないか確認をしてください。



### ⚠ 注意

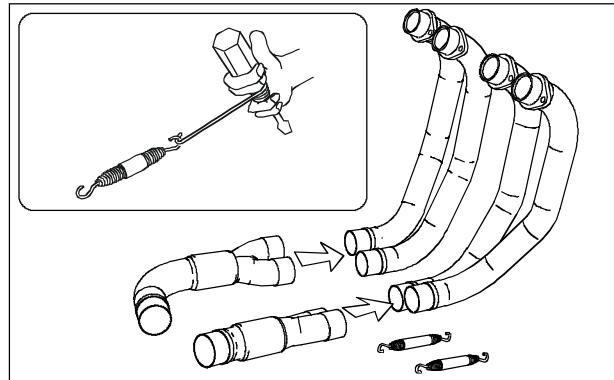
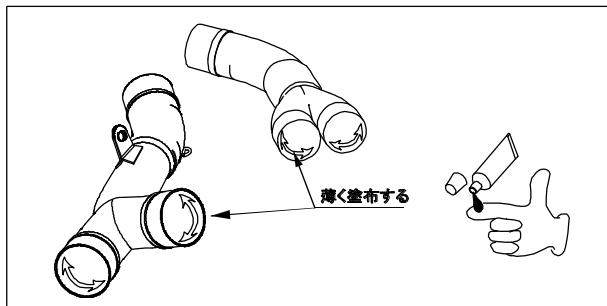
フロントパイプ取付け後、ラジエターホースバンドのネジ部（突起部）がエキゾーストパイプに近い場合は、ホースバンドの突起部の向きを変えてください。

## ④ ミドルパイプの取付け

- ・O<sub>2</sub>センサーをミドルパイプに取り付けます。

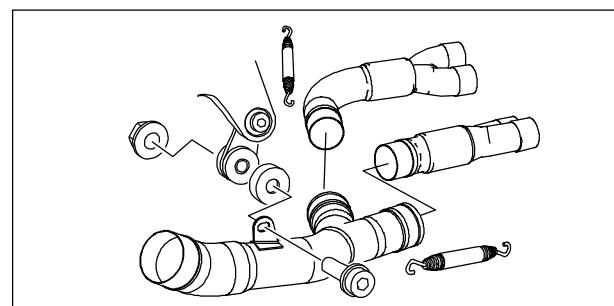
必要に応じて付属の[セルフロックバンド150 BL]を使用し、O<sub>2</sub>センサーのハーネスを固定して下さい。

- ・ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・付属のスプリングブラーでスプリングを取付けます。



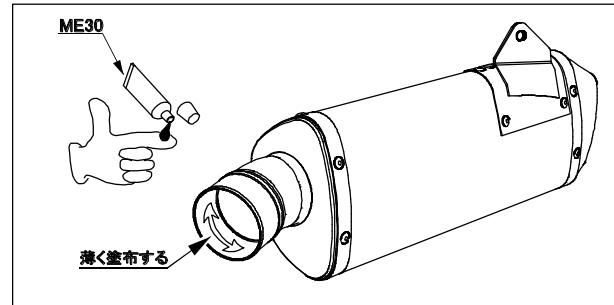
## ⑤ テールパイプの取付け

- ・ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・付属のスプリングブラーでスプリングを取付けます。
- ・テールパイプのステーをテールパイプサブステーに付属ボルト、ナットで付属のカラーと共に仮止めします。



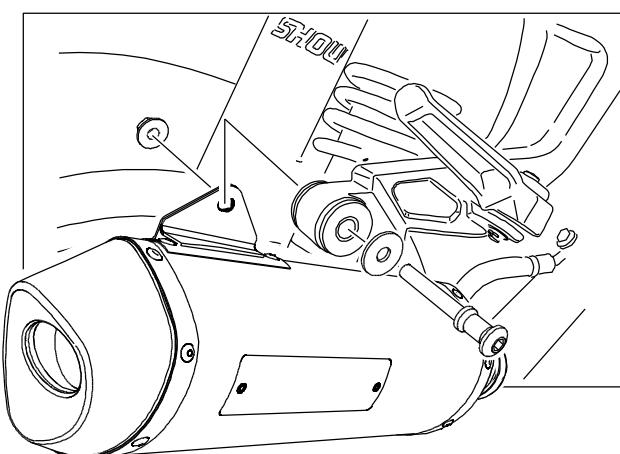
## ⑥ サイレンサーの取付け

- ・ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・付属のスプリングブラーでスプリングを取付けます。
- ・STDボルト、ワッシャー、ナットを使用して、サイレンサーをタンデムステップに取付けます。



## ⑦ 下記の順序で本締めをします。

- ・E X. フランジ→テールパイプステー→サイレンサー

⑧ 最後にEXパイプ、サイレンサーの脱脂を行って下さい。  
脱脂を行なわない場合、パイプの焼けにムラができます。

- ⚠ 確認してください。**
- ・マフラーが各部に干渉していないか。
  - ・パイプのジョイント部が奥まで差し込まれているか。
  - ・ボルト、ナットの締め忘れ、ゆるみが無いか。

## 【確 認】

### エンジン始動直後の確認

- ① ジョイント各部から排気漏れがないか確認します。
- ② サイレンサー出口から白煙が出ますが、15分程度で消えます。
- ③ サイレンサー入り口の下部より水が出る事がありますが、性能上問題ありません。

### 運転後の確認

- 各部ボルト、ナットの緩みが無いか確認してください。
- ※ サイレンサー前方下部に水抜き穴があり、ここから水蒸気、水滴等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

## 【セッティングについて】

この製品は、スタンダードのエンジンの状態で性能が発揮されるように設計されています。

したがってマフラー装着に伴うキャブレター、インジェクターなどのセッティングの必要はありません。

万が一マフラー交換に伴う性能悪化が見られるような場合は、すぐに使用を中止し取付け箇所及び周辺を再度点検し、取付け状態や各部機能をご確認下さい。状況が変化しない場合は販売店、整備工場等にご相談下さい。

## 【J M C Aについて】

全国二輪車用品連合会（J M C A）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省、経済産業省の指導のもと、不法製品の一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。「J M C A認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全を見越した自主規制をもクリアした製品です。

自動車排出ガス試験結果証明書は、車検の時に必要となりますので紛失しないようにして下さい。

## 【メンテナンスについて】

- マフラー取付けボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取付け不良などを定期的に点検して下さい。
- パイプのお手入れにつきましては、十分脱脂を行っていただくことが前提となります。走行による汚れにつきましては、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

株式会社モリワキエンジニアリング  
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

HP <http://www.moriwaki.co.jp>